

和歌山の 夜間中学の未来を 語り合うフォーラム

学ぶことは生きのびること

2023年11月19日(日)
13:30 ~ 16:30

和歌山信愛大学

1号館2階 中講義室 I (定員100名)

和歌山市住吉町1番地

開催内容

基調報告「全国・和歌山の夜間中学の歴史と現在」

江口怜 (和歌山の夜間中学校をつくり育てる会事務局長・摂南大学講師)

パネルディスカッション・リレートーク・全体討議

主催：和歌山の夜間中学校をつくり育てる会

後援：和歌山県・和歌山県教育委員会

和歌山市・和歌山市教育委員会

【申し込み】以下のいずれかの方法で事前申込みください。

当日参加もできます。

①申込フォームに入力

②和歌山の夜間中学校をつくり育てる会事務局宛に以下の情報を記してFAX

「名前」「所属」「緊急用電話番号」「メールアドレス」

和歌山信愛大学八代研究室 (FAX073-488-6260)

【問い合わせ】、下記メールまで
satoshi.eguchi@setsunan.ac.jp

申し込みいただいた情報は、本事業以外の目的では使用しません。

申込フォーム



開催趣旨

2016年の教育機会確保法制定に伴って全国では夜間中学の設置が進められています。

しかし、この和歌山では設置されていません。

本フォーラムでは、夜間中学の意義や役割についてひとりでも多くの市民のみなさんに知っていただき、理解を深めていただくため、夜間中学と関係の深いパネリストの方々を迎えて、これからの和歌山の夜間中学の現状と未来を共に考え、語りあいます。

関心のある方は、どなたでもご自由にご参加ください。

参加無料

会場地図【大学HPより転載】

※駐車場は、限られていますので、近くの

パーキングをご利用ください。



- ・南海本線 和歌山市駅より徒歩 約13分
- ・JR紀勢本線 紀和駅より徒歩 約12分
- ・JR阪和線 和歌山駅よりバス 約8分(JR和歌山駅～本町3丁目)

本フォーラムは、令和5年度高等教育機関
関 Consortium 和歌山「わかやま学講座」
の採択を受けました。



パネラー紹介

○長友文子氏(和歌山大学教授)



外国につながる人々の現状

現在、日本には300万人を超える多様な目的を持つ外国人がいます。それに伴い、外国にルーツをもつ子どもたちが多くなっています。中には、発達途上の段階で日本に来るケースが少なくありません。そういった子どもたちが、自分というものを失わず、日本で生活し学校に通うことができるように、日本語と母語の支援活動をしてきました。

夜間中学は、いろんな理由から学ぶ機会が得られなかった人たちが、学びや学びなおしをする場として必要です。学びから取り残される人がいないように、外国人も含めて、誰にも開かれた夜間中学ができることを期待しています。

○吉本拓司氏(岩橋夜間学校代表)



識字運動と関わる中で

地元の識字学級に関わる中で、夜間学校の設立・公立夜間中学校の設立運動を展開してきました。今回は、識字学級生の想いを代弁させていただきます。識字学級にたどりつくまでのおいたちや識字学級でのがんばりを紹介したいと思います。

○城之内庸仁氏(岡山自主夜間中学校代表、三豊市立高瀬中学校夜間学級教諭)



自主夜間中学の取組みと公立夜間中学校新設を巡る動向

2017年たった一人からスタートした岡山自主夜間中学校は、現在700人以上の生徒さん、スタッフさんが在籍し、日本最大規模の自主夜間中学校と言われるまでになりました。また、香川県初の公立夜間中学であり、全国初の公立夜間中学における学びの多様化学校(旧 不登校特例校)の指定を受けた三豊市立高瀬中学校夜間学級で英語指導をはじめ運営に携わっています。全国各地(香川県三豊市、岡山市、福岡県大牟田市、三重県)の公立夜間中学校設置検討委員をはじめ行政への指導助言等も行っています。

○江口怜氏(摂南大学講師)



夜間中学の現在と未来

学生時代に夜間中学と出会い、識字学級でのボランティアを経験した後、夜間中学の歴史を研究してきました。2016年の教育機会確保法の制定によって、夜間中学を取り巻く状況は大きく変化しています。夜間中学での教育は、すべての人に基礎教育を保障する取り組みであると同時に、社会的なマイノリティも含めてすべての人の人権を尊重され共生できる社会づくりに結びつくものであると感じています。今後、和歌山で設置が検討されていく夜間中学がどのようなものであるべきか、皆さんと一緒に考えたいと思います。

コーディネーター

村田和子氏(和歌山大学紀伊半島価値共創基幹教授、生涯学習・リカレント教育推進室長)